

宇都宮市老人クラブ連合会 中期経営計画評価表

I 組織の概要

平成27年4月1日現在

1. 団体の基礎情報									
所在地	宇都宮市中央1丁目1番15号 宇都宮市総合福祉センター内				設立年月	昭和59年3月			
市所管課	保健福祉部高齢福祉課				代表者	会長 大下 又吉			
ホームページアドレス	-								
基本財産(資本金)	0千円	主な出資者			出資額	出資割合			
市出資額	0千円	会員寄付			0千円	0.0%			
市出資割合	0.0%	旧組織			0千円	0.0%			
		一円募金(基本財産造成募金)			0千円	0.0%			
設立目的等	市内老人クラブの育成指導と連絡調整を図り、併せてクラブ活動の充実強化を推進して、老人福祉の増進と社会の発展に寄与することを目的とする。								
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> 老人クラブ及び地区連絡協議会の育成指導及び連絡調整 老人クラブ活動推進のための調査研究及び総合的企画 老人クラブ活動についての広報活動 老人福祉向上のための事業 その他目標達成のために必要な事業 								
2. 団体の組織・人員情報 ※社会福祉協議会職員が老人クラブ事務局職員を兼職									
役員数	役員数	理事	1	1	0	17	0	計	18
		監事	0	0	0	2	0		2
	職員数	常勤(正規)	2(1)	1(1)	0	2	0		4(1)
	計		2	1	0	21	0		合計
常勤役員		平均年齢(歳)	-		平均年収(千円)	-		情報公開制度の有無	○
常勤職員		平均年齢(歳)	59.0		平均年収(千円)	6,578		個人情報保護体制の有無	○
3. 財務状況 ※1 新公益法人制度の基準に合わせ、会員対象の事業を公益事業ではなく共益事業として事業区分を変更									
貸借対照表から	項目	金額(千円)					備考		
		平成22年度決算	平成23年度決算	平成24年度決算	平成25年度決算	平成26年度決算			
	総資産	60,649	56,113	58,889	-	-			
	負債	24,934	19,464	17,362	-	-			
	(うち市からの借入金残高)	0	0	0	-	-			
	純資産	35,715	36,648	41,526	-	-			
(うち利益剰余金)	35,715	36,648	41,526	-	-				
※一般財団等は、純資産を正味財産合計、利益剰余金を一般正味財産として読み替えています。									
損益計算書から	項目	金額(千円)					備考		
		平成22年度決算	平成23年度決算	平成24年度決算	平成25年度決算	平成26年度決算			
	総収入	32,370	27,611	31,539	9,384	10,019			
	(うち市補助金等)	26,239	21,605	21,892	3,749	3,905			
	(うち市委託料等)	0	0	0	0	0			
	経常損益	△ 407	△ 151	4,177	-	-			
減価償却前当期損益	△ 349	△ 79	4,938	-	-				
当期損益	△ 407	933	4,879	-	-				
※一般財団等は、損益計算書を正味財産増減計算書、経常損益を当期経常増減額、当期損益を当期一般正味財産増減額として読み替えています。									
4. 経営改革に関する平成19年度～21年度までの主な取組(前計画の主な取組)									
<ul style="list-style-type: none"> 老人クラブ活動の活性化に向けた取組を行い、会員数増加を目指すとともに、小規模クラブへの支援を行うことにより、新規クラブの掘り起しを行った。 クラブ活動の指針や活動内容、社会的役割等を明文化した「老人クラブの手引き」を作成し、単位クラブに配布した。 毎年度、具体的な加入促進の目標設定を行い、加入促進運動を強力に展開し、会員増を図った。 情報公開要綱の制定やホームページの開設による情報の提供等、情報公開制度の充実に努めた。 									

II 各項目の取組状況

1. 事業の充実・強化								
No	取組項目	目標	基準値		実績値			
			H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
1	公益目的事業比率の向上	26年度末 76.6%	76.6%	77.5%	75.3%	83.7%	—	—
2	会員数・クラブ数の増	26年度 5%増	365クラブ 20,462人	362クラブ (-1%) 20,479人 (+0.1%)	357クラブ (-2.2%) 20,490人 (+0.14%)	352クラブ (-3.6%) 20,138人 (-1.6%)	341クラブ (-6.6%) 19,588人 (-4.3%)	337クラブ (-7.7%) 19,287人 (-5.7%)
3	友愛活動の充実	統一マニュアル等により実施	実施基準が不統一	作成	作成・実施	実施	→	
2. 経営の強化・効率化								
No	取組項目	目標	基準値		実績値			
			H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
4	市からの補助金・負担金の適正化	職員の適正配置等を踏まえた補助金の適正化	22年度当初 27,616千円	26,239千円	21,605千円	21,892千円	3,749千円	3,905千円
5	退職金制度にかかる検討	26年度 方向性の決定	検証	検証	検証	終了	社協が加入している制度に加入	→
3. 組織・人員体制の強化								
No	取組項目	目標	基準値		実績値			
			H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
6	常勤役職員の適正化	職員の適正配置	22年4月 職員3人体制	検証	23年4月 職員2人・ 嘱託1人体制	24年4月 職員2人・ 嘱託1人体制	25年4月 社協事務局に 統合	→
7	組織のあり方検証	3団体による方向性の決定	課題を 整理中	検証	協議	決定	実施	→
4. その他								
No	取組項目	目標	基準値		実績値			
			H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
8	ホームページの充実	新しい公益法人制度に対応した情報の提供	一部実施	実施	実施	実施	—	—
9	新公益法人制度改革への対応	24年度までに新制度に対応(※)	特例民法 法人	準備	協議	任意団体への 移行を決定	—	—

※ 組織のあり方検証に併せ、新公益法人制度に対応した組織体制を整備することとしたため、目標を変更

III 評価

団体 記入欄	<ul style="list-style-type: none"> 組織体制を任意団体へ移行し、事務量の負担軽減や組織体制の簡素化による効率的な事業運営が可能となり、さらに、社会福祉協議会事務局との統合により、安定した組織運営が確保されたことから、今後は安定した組織運営のもと、老人クラブ連合会事業の充実や単位クラブ活動の活性化を促進するため、他団体との事業連携をより一層強化する必要がある。 老人クラブ未加入者へのアンケート結果をもとに定めた加入促進運動実施要綱を活用し、近隣の未加入者への加入呼びかけや未設置自治会への単位クラブの立ち上げ、新聞への掲載による対外的なPR活動など、連合会、地区連、単位クラブが組織的に取り組んでいるが、会員数・クラブ数ともに減少しているため、今後はクラブ会長の後継者育成等による既存クラブの運営体制の強化や新規クラブ数・新規会員の確保により一層努める必要がある。
所管課 記入欄	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉協議会との事務局統合により、安定した組織運営に努めており、今後も地域福祉との連携強化を図り、多様化する高齢者ニーズに対応した事業展開と活動の活性化に努める必要がある。 これまで、会員の加入促進活動の指針に基づき、自治会との連携による加入促進運動など単位老人クラブ活動の活性化につながる支援を行ってきたが、会員数及びクラブ数が減少傾向にあるため、地域福祉との連携強化による会員の加入促進や後継者の育成により一層取り組む必要がある。